

少年消防クラブニュース

一般財団法人
発行/ **日本防火・防災協会**
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16
(日本消防会館内)
TEL 03(3591)7121 FAX 03(3591)7130
http://www.n-bouka.or.jp
(季刊・年4回発行)

印刷/株式会社 近代消防社

少年消防クラブ交流会 徳島県で開催 少年消防クラブ活性化推進会議

総務省消防庁が主催して、「少年消防クラブ交流会」が8月7日(水)～9日(金)の3日間、徳島県において開催されました。この交流会は、昨年、岩手県で開催されて以来2回目となるもので、少年消防クラブ活性化推進会議(委員長・秋本敏文(日本防火・防災協会会長、日本消防協会会長)・副委員長(一財)日本防火・防災協会、(財)日本消防協会の他、徳島県、(公財)徳島県消防協会と)にも開催に協力しました。

参加クラブは、西日本の1府7県から18クラブで、指導者を含む137名が集まって行われました。本号で、その概要を紹介いたします。

1日目の活動(8月7日(水))

◆参加クラブ受付——ホテルサンシャイン徳島
晴天に恵まれるなか、西徳島に集合したクラブ員たち。宿舎に続々と到着する顔は、みんな元気に日焼けして真っ黒。少し緊張した面持ちで、それぞれ受付を済ませていきました。



ワクワクした笑顔でホテルに。「さあ、日頃の活動の成果を出すぞ!」

気温35度に迫る暑さにも負けることなく、元気に交流会にやってきたクラブ員たち



消防庁のスタッフによる説明。いよいよ始まるという緊張感が漂います

◆オリエンテーション——ホテルサンシャイン徳島
クラブ員たちは、名札を着用して、しおりと筆記用具をもってホテル3階に集合。オリエンテーションで3日間の交流会での注意事項などを確認しました。実は今回の交流会での食事などのテーブルは、くじ引きで決めた着席。他のクラブ員と一緒にテーブルを囲む



各テーブルはクラブ単位でなく、クラブ員や指導者が混ざる形で着席



3日間の予定をしっかりと頭に入れながら、「しおり」を読み込むクラブ員たち



よ3日間の交流会がスタートしました。スタッフの指示に従って次々と受付を済ませていく各クラブ員たち

よ3日間の交流会がスタートしました。

比治山学区少年少女消防クラブ

広島県広島市



■夏には研修活動も盛んに行うなど活発な活動を行っています。旧広島市民球場で行ったマーチング演奏は思い出深いイベントでした。12月には30年続ける独居老人宅への訪問やカイロの配布を行うなど、地域への貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

河南町ファイアジュニア

大阪府河南町



■平成23年に発足したまだ若いクラブで、小4から中3までの38名のメンバーで構成されています。「ファイアジュニア」は河南町の町長が付けてくれた名前。地域にもっと根付いて、皆さんの防災の担い手になっていけるよう、これからも頑張っていきます。

府中町少年少女消防クラブ

広島県府中町



■指導員は消防職員や消防団OBが務め、礼儀や規律を身につけることを大事にしながら、年間10回以上のさまざまな活動を行っています。防災マップコンクールには6年連続して参加。メンバーが地域を歩いて自分たちの手で作成しています。

6区少年少女消防クラブ

広島県三次市



■平成5年に結成して今年で20年の節目を迎えます。その記念すべき年に交流会に参加できてうれしく思います。8月のリーダー研修や11月の防災訓練など、クラブ員のレベル向上のための取り組みも多く行っています。地域の美化活動にも熱心に取り組んでいます。

参加クラブの紹介

※1日目に行われたミーティングでのあいさつなどから(あいさつ順)



食事の前に、河南町ファイアジュニアのクラブ員から「いただきます」の挨拶



テーブルの隣同士、少し緊張しながらの雰囲気です



西日本の各地から集まったクラブの面々。貴重な交流の機会にしてほしい



夕食が終わり、比治山学区少年少女消防クラブのクラブ員から「ごちそうさま」の挨拶

◆夕食会/参加クラブによる活動紹介
18時から夕食会がスタート。各クラブ員や指導者が分かれてテーブルに着き、

ホテルサンシャイン徳島
ここから交流会が本格的にスタートしました。まだまだ緊張の面持ちながら、美味しい夕食をほおばるクラブ員たち。30分の夕食後、参加クラブによる活動紹介も始まり、次第に笑顔も満開に。和やかな雰囲気は過ぎていきました。



1日目の最初の夕食。クラブ員にもまだちょっと固さが...



伊島少年消防隊

徳島県阿南市



■私たちのまちは、住宅が密集していて火事などが起こると大災害になってしまう危険があります。防火パトロールは特に力を入れて「火の用心」を呼びかけています。その甲斐もあって大きな火事は長い間起こっていません。これからもまちの安全を守っていきます。

うずしお少年少女消防クラブ

徳島県鳴門市



■鳴門市は阪神大震災での被害が大きかった街です。今後は南海トラフ地震も懸念され、私たち消防クラブもしっかりと活動していきたいと思っています。日頃から地元の消防団と連携しながら、火の用心の巡回や避難訓練を実施。非常食の作り方なども学んでいます。

厚南地区少年消防クラブ

山口県宇部市



■35年前に設立されたクラブで、設立当時は小学校も1校だけでした。今も児童の減少でクラブ員集めには苦勞していますが、メンバー全員元気に頑張っています！ A E Dの取扱い訓練や防災マップ作り、規律訓練や出初式への参加など、地域とともに活動しています。

川崎小学校少年消防クラブ

徳島県三好市



■三好市の川崎小学校の児童が中心となって構成する消防クラブです。今回の交流会には、指導者のほか、少数精鋭でのクラブ員で参加しました。地域の防災活動を担う存在として、地元の方々とともに日々頑張っています。

白地小学校少年消防クラブ

徳島県三好市



■三好市池田町の白地小学校の児童を中心にしたクラブです。防災訓練や避難訓練、合同消火訓練などの活動を地域の消防本部や消防団、婦人会などを行っています。クラブ員一人ひとりが「自らが地域を守る」という防災意識をもち、日々活動に取り組んでいます。

土成中学校少年少女消防隊

徳島県阿波市



■昭和34年に開設された長い歴史があります。総合防災訓練や規律訓練には日頃から力を入れ、ヨーロッパの大会には日本代表の一員として参加した経験ももちます。きびきびとした機敏な動きは、私たち「土成消防隊」の伝統。規律ある集団行動には自信があります。

三豊市立河内小学校少年消防クラブ

香川県三豊市



■三豊市にある河内小学校は、瀬戸内海まで15キロの自然豊かなまちです。平成3年には全国表彰も受賞。メンバーによるボランティア活動も盛んで、親子二代でクラブ員になっている人もいる、長い歴史のある消防クラブです。

半田中学校少年少女消防クラブ

徳島県つるぎ町



■平成22年度に結成された、徳島県美馬郡つるぎ町にある半田中学校の男女生徒を中心とした消防クラブです。日頃から、地元の消防本部や消防団、地元婦人会などから指導を受けて、合同消火訓練や救急救命訓練などに取り組んでいます。

海陽中学校防災クラブ

徳島県海陽町



■海陽町は海から直線距離で150メートルという海辺にあるまち。津波への対策は急務で、南海トラフ地震への備えも必要とされています。東日本大震災でボランティアに行った人たちの話を聞くなどしながら、クラブ員一同で防災への取り組みを行っています。

第東中14区少年消防クラブ

福岡県北九州市



■北九州市の若松区の少年消防クラブ。地域の自治会の育成部が主体となって12年前に発足しました。現在のクラブ員は28名で、多くが小学生です。少年期に防災の基礎教育を行うことを目指して、年間6回の訓練を実施。命の大切さを教えていきたいと思っています。

栲原学園少年消防クラブ

高知県栲原町



■平成22年に発足したクラブです。小中一貫校として小1から中3までの約220名の子どもたちがいる栲原学園。その全員にクラブ員となってもらいたいとの思いで活動しています。今回の交流会には、最年少となる小4の児童も参加しました。

赤岡町少年防災クラブ

高知県香南市



■平成17年度に赤岡小学校の全児童164名によって、PTAや地域の消防団などのサポートを得て結成しました。チームワークの良さを生かした活発な活動を行っています。赤岡町は海から直線距離で300メートルだけに、防災活動にしっかり貢献していきたいと思っています。



夏に晴天に恵まれた2日。参加クラブ対抗の競技による合同訓練が実施されました。この日のために、日頃の活動のなかで訓練を重ねてきたクラブも多いよう。対抗競技の種目は、欧

◆合同訓練——徳島県消防学校(徳島県板野郡北島町)

2日目の活動(8月8日)

下曾根少年消防クラブ

福岡県北九州市



北九州市の東側にある少年消防クラブで昭和56年に設立しました。地域の子どもの4年生から6年生までの16名がクラブ員として活躍しています。敬礼をはじめとした礼儀や基本の姿勢を最初に教えていきながら、地域の防災の啓発に力を入れています。

伊平屋村少年消防クラブ

沖縄県伊平屋村



平成23年に設立されたばかりの新しいクラブで、現在小4から中3までの20名のクラブ員で活動しています。年に一度の自衛隊との合同キャンプは貴重な経験。規律訓練やロープワーク、海水から水を作る方法などを自衛隊員から直接教わっています。

○第1走者/ホース搬送
スタートの後、40mmホースを搬送して、白線まで移動。ホースを伸ばしてポウリングのピンを倒します。

クラブ対抗リレー



少年消防クラブ活性化推進会議・秋本委員長は「県を越えて交流が実現するのは貴重な機会。力を合わせて頑張ってください」



消防庁の赤松防災課長の挨拶。「日頃の訓練の成果を楽しみにしています。頑張ってください」

州の消防連合組織(CTFI F・EUを中心)に約40カ国で結成)が、2年に1度開催している「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」(平成21年には日本も特別

倒れた本数も得点に結びつくため、いかに正確にホースを伸ばしてピンに当てるかも高成績を挙げられるの力ギとなります。



「うず潮のように勇壮に、すだちのように爽やかに……、人を助ける気持ちを持って頑張ります!」と選手宣誓する地元徳島県阿南市の伊島少年消防隊の川西塁くん

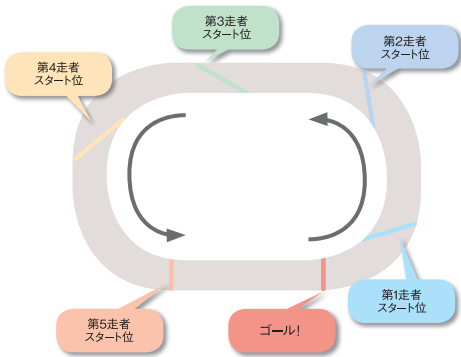


来賓の飯泉嘉門徳島県知事の挨拶。「みなさん徳島によろこ。この日を待ちわびていました。自助・共助の精神で、皆さんの活躍にこれから大いに期待しています」

参加)における交流競技種目を参考として、2競技(クラブ対抗リレー・クラブ対抗障害物競走)を実施しました。

1 クラブ対抗リレー

- 1クラブ5名で行う。
- 全長160メートルのトラックを用いる。
- 消防ホースの筒先をバトン代わりに使用する。
- 審判員の笛の合図でスタートし、筒先(バトン)をリレーしながら、アンカー(第5走者)がゴールラインを通過して筒先を置くまでのタイムを競う。



第1走者	第2走者	第3走者	第4走者	第5走者
ホース搬送	水消火器搬送	ハードル	分岐金具搬送	ホース延長
40mmホースを搬送し指定の枠(白線)の中で移動し、ホースを伸ばしてポウリングのピンを倒す。	水消火器を搬送し指定の枠(白線)の中に置き、水消火器を噴射し標的を2つ倒す。	コース上に設置された第2ハードルを飛び越え、第2ハードルをくり抜ける。	分岐金具を搬送し第5走者待機位置にある40mmホースと結合し、筒先(バトン)を渡し、分岐金具を保持する。	40mmホース2本と筒先を結合しホースを延長する。

○第3走者/ハードル

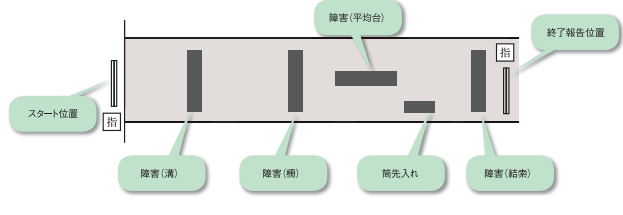


コース上に設置された第1ハードルを飛び越え、第2ハードルをくり抜ける必要があります。ハードルを倒すこと、慎重に素早く飛び越えること、そのあと身を縮めてハードルの下をくぐり抜ける俊敏さが必要。

○第2走者/水消火器搬送
水消火器を搬送し、指定の枠(白線)の中に置いたの、水消火器を噴射して標的を2つ倒します。正確に噴射させなければ標的を倒すことができません。時間も口スとしてしまいます。水消火器の取り扱いが迅速・正確に行えるかどうかポイント。

2 クラブ対抗障害物競走

- 1クラブ5名で行う。
- 指揮者1名を含む5名でホースを延長しながらコース上の障害をクリアする。
- 直線65メートルの会場を用いる。
- スタートの笛の合図とともに、協力して障害を越えながら二重巻きホースを延長し、結末を行った後、終了報告位置に整列し、指揮者が右手を挙げるまでのタイムを競う。



指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員
筒先	筒先	40mmホース	40mmホース	40mmホース
スタートの合図とともに、各障害を越え、終了報告位置まで、各番員の行動を監視し、全員が整列し終わったら、右手を上げ報告する。	筒先を携行しスタートの合図で各障害を越え、平均台の上で2番員のホースの延長を待つ。ホースに筒先を結合し、筒先入れに収納する。最後の結末を行った後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを搬送しながら各障害を越え、障害(橋)を越えた位置で3番員を待つ。ホースを結合し、筒先を延長し、平均台の上で2番員に渡し、最後の結末を行った後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを搬送しながら各障害を越え、溝を越えた位置で4番員を待つ。ホースを結合し、筒先を延長し、平均台の上で2番員に渡し、最後の結末を行った後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを延長しながら溝を越え、溝を越えた位置で3番員に結合部を渡し、各障害を越え、最後の結末を行った後、終了報告位置に整列する。

クラブ対抗障害物競走



○第4走者/分岐金具搬送

分岐金具を搬送し、第5走者待機位置にある40mmホースと結合します。焦らず



○第5走者/ホース延長

40mmホース2本と筒先を結合し、ホースを延長しながらゴールします。



(4面に続く)

○2番員
2番員は40mmホースを抱えてスタート。障害を越えて、柵を越えた位置で3番員を待つ。ホースを結合し、自分のホースを延長しながら平均台を越えます。



○1番員
スタートとともに、1番員を含む各番員・指揮者がいっせいにスタートを切ります。それぞれ迅速な動きで最初の持ち場につきま

○4番員
最後の結索を行ったあと、終了報告位置に整列。4番員のほか、全員が整列



○3番員
2番員のホースに、延長してきたホースを結合したあと平均台を渡ります。バランスを崩してタイムをロスしないように注意。



(3面から続き)

■合同訓練の総合成績■

- 優勝 半田中学校少年少女消防クラブ
- 2位 土成中学校少年少女消防隊
- 3位 府中町少年少女消防クラブ
- 4位 うずしお少年少女消防クラブ
- 5位 厚南地区少年消防クラブ

表彰式



します。指揮者が右手を上げて合図を行い完了。

■軽可搬ポンプ操法展示

〈実演：半田中学校少年少女消防クラブ〉

5名1組で実施する訓練で、火災時の基本的な動きが取り入れられた訓練。指揮者の指示のもと、ホース3本を延長し、水槽からポンプで汲み上げた水を的に向かって放水します。軽可搬ポンプ操法を一部簡略化した応用訓練を実演。



「将来の消防の頼もしさを感じさせてくれた合同訓練でした」と講評を述べた、中川正徳徳島県消防協会会長

「クラブ対抗リレー」と「クラブ対抗障害物競争」の2つの競技で争われた合同訓練。競技は無事に終了し、表彰式が行われ、各クラブ、日頃の訓練の成果はどのように表れた



秋本委員長から、上位入賞の健闘を称えて記念品が授与されました



見事、5位までの入賞を果たしたクラブの代表者たち

でしょうか。好タイムを確信して満足そうな顔のクラブや少し悔しそうなクラブなど、さまざま表情が見られるなかで、力を出し合った後の清々しさがグラウンドいっぱいには漂っていました。



4位
うずしお少年少女消防クラブ



2位
土成中学校少年少女消防隊



優勝 半田中学校少年少女消防クラブ

指導者・都郷雅司さんのコメント

消防署の方が10人ずつ、10日間連続でずっと一緒に練習をしてくださって、子供たちを指導してくれました。今日の優勝は、その成果が出た結果だと思います。運動場に今日と同じラインを引いて練習しましたが、今日は練習どおりのタイムを出すことができました。みんなで「優勝しような!」と言い合って、訓練に臨みましたが、普段の力を発揮できたことが勝つ要因だと思います。今回、合同訓練も含め、交流会はなかなかできない体験ですので、子供たちにとっての貴重な経験になりました。



5位
厚南地区少年消防クラブ



3位
府中町少年少女消防クラブ

入賞クラブの紹介



やってみるとさすがに難しい…。でも貴重な経験にみんな笑顔がいっぱい

◆阿波人形浄瑠璃の鑑賞

帰る途中で、徳島県を代表する伝統芸能である「阿波人形浄瑠璃」を鑑賞しました。阿波人形浄瑠璃は、3人遣いの人形の三者によって演じられる人形芝居。国の重要無形民俗文化財として、今も大切に受け継がれている。人形浄瑠璃は初めて観るクラブ員たちも多く、上演の合い間には人形を實際に操る体験をさせてもらうなど、楽しい時間を過ごしました。



大地震時に必要なのは冷静沈着な行動。こうした施設で実際の揺れを体験しておくことは大切



防災センターのスタッフの説明を熱心に聞くクラブ員たち



館内には防災にまつわるさまざまな資料や展示が、災害の恐ろしさと防災の大切さを教えてくれます



「煙体験」のコーナーへと入っていくクラブ員。火災の煙は日頃経験できないだけに貴重な体験

◆防災センター見学体験

合同訓練終了後、消防学校の隣りにある「徳島県立防災センター」を見学体験に訪れました。館内には震度7の揺れを体験できるコーナーや、火災の際に見舞われる煙、台風による風雨の体験など災害時の危険を肌で感じるコーナーがあります。南海トラフ大地震が懸念されるなか、日常での危機意識の啓蒙など防災センターの果たす役割は大きく、クラブ員たちも真剣な表情で館内を見学していました。

徳島県立防災センター

各 ク ラ ブ の お 国 自 慢

(発表順)

◆お国自慢——ホテルサンシャイン徳島
2日目の夜、夕食のあとに各クラブによる「お国自慢」が披露されました。それぞれステージに立って、地元の美味しいものや自然や歴史、名所旧跡など、日頃感じている郷土自慢を力強い言葉で紹介。「ぜひ一度遊びに来てください!」というメッセージが、各クラブ員たちから聞かれた。「お国自慢」となりまし

来賓の飯泉嘉門徳島県知事が挨拶。「徳島は自然がいっぱいの素晴らしいところ。鳴門のうずしおや阿波踊り、阿波人形浄瑠璃など全国に誇る名所や伝統文化も盛りだくさん。ぜひ徳島のいいところを感じて帰ってください!」



ホテルサンシャイン徳島



下曾根少年消防クラブ

地元は北九州市の小倉南区。大間のタケノコが有名です。美味しいものや特産品がいっぱいなので、ぜひ一度いらしてください。



伊平屋村少年消防クラブ

伊平屋村は沖縄県の最北端の島です。空気がきれい自然豊か、神話や伝説があふれる島。今回は島の名産である一口黒糖を各テーブルにプレゼントしました。



赤岡町少年防災クラブ

高知県の自慢を10個挙げます。坂本龍馬、よさこい祭り、鯉、しらす、山北みかん、桂浜、絵金歌舞伎、絵金まつり、弁天座、高知野菜。ぜひ高知に遊びにいらしてください!



梶原学園少年消防クラブ

高知県の梶原町は、まちの91%を森林が占めるように緑がいっぱい。水力発電や風力発電などのクリーンエネルギーを推進するまちです。由緒ある『津野山神楽』も有名です。



第東中14区少年消防クラブ

関門海峡で知られる北九州市の若松区からやってきました。地元の人たちは、山笠まつりに代表される祭り好きの人たちです。山笠の掛け声は“よいっとさー”



伊島少年消防隊

徳島県阿南市にある伊島は人口180人の小さな島。海に囲まれた自然がいっぱいで、アワビやイセエビ、ウニやサザエなど、一年を通して豊富な海の幸が味わえます。



土成中学校少年少女消防隊

温室メロンの産地として、徳島県は一番の生産量を誇ります。土成町は人口8,500人の小さな町ですが、自然がいっぱいで秋には虫の鳴き声があちこちから聞こえます。



三豊市立河内小学校少年消防クラブ

香川県は日本一、溜め池が多いところです。そしてなんと、うどん。麺は太くてコシがあり、ダシの美味しさも抜群。皆さんぜひご賞味あれ!



府中町少年少女消防クラブ

広島県の安芸郡府中町は人口5万人と日本で最も人口の多い『町』。自動車のマツダの本社がある町。ボクシングの竹原慎二さん、歌手の吉川晃司さんの出身地なのです。



厚南地区少年消防クラブ

山口県はふくの漁獲高が日本一。そして宇部市は瀬戸内の豊富な海産物が格別です。また、『常盤湖』の白鳥たちも宇部市を代表するシンボルです。



うずしお少年少女消防クラブ

『鳴門のうずしお』は世界の3大潮にも数えられる代表的な観光名所。ほかに、サツマイモの『鳴門きんとき』も美味。鳴門で獲れる魚など海の幸も絶品です!



河南町ファイアジュニア

大阪府南河内郡河南町は人口1万7千人のどかなまち。田んぼや畑に囲まれ、東は奈良県と接しています。古墳公園など、歴史情緒あふれる名所旧跡がいっぱいです。



比治山学区少年少女消防クラブ

広島市南区の比治山は昔レンコン栽培が盛んだったそうで今も『レンコン祭り』が受け継がれています。広島のおススメは『広島風お好み焼き』。ぜひ堪能ください!



6区少年少女消防クラブ

広島県三次市から来ました。町の自慢は3つ! 400年の伝統がある『鵜飼』、プロ選手も多く輩出する『少年野球』、黒い真珠といわれるぶどうの『三次ピオーネ』です!





平成16年の台風では那賀町で行方不明者も出ました。ヘリコプターによる救助など、実際にあった災害救助活動の話にクラブ員も熱心に聞き入っていました



那賀町消防団から4名の団員の方が交流会の会場に足を運び、貴重な話を披露

◆消防団の方との交流——
最終日の3日目は、地元消防団の方々との交流から始まりました。災害時の活動内容について、「那賀町

3日目の活動(8月9日)

◆ホテルサンシャイン徳島

消防団」の団員の方が貴重な話を披露。平成16年に那賀町を襲った2つの台風にまつわる、行方不明者の捜



「娯茶平連」の皆さんが阿波踊りを迫力たっぷりに実演

◆阿波踊り体験——ホテルサンシャイン徳島
有意義だった3日間の交流会の最後は、地元徳島の阿波踊り連「娯茶平連」による阿波踊りの実演と体験。徳島の夏といえはやはり阿波踊り。「踊らねば損」という踊りだけに、クラブ員や指導者たちも、連の皆さんに教わりながら一緒に阿波踊りを満喫。額に汗をにじませながら、徳島ならではの充実したひとときを過ごしました。



「災害時には情報をいかに得るか重要」と消防団員。災害が起こったらどういう状況になるかを日頃からイメージして、心と頭で準備しておくことが必要と話しました

索や避難誘導など、災害対策の実体験の話聞きまし

クラブ員や指導者たちも一緒に阿波踊りを熱演。初めて踊る人も多くいるなか、次第に形もよくなってきたよう。みんな汗をかきました



クラブ員からも消防団員に質問。「遭難のときに救助しにくい場所はどこですか?」「ヘリで救助できない山中などは難しいですね」



主催者を代表して、消防庁国民保護・防災課の原尻課長補佐が挨拶。「この経験を、ぜひお家の方々に伝えてください。みなさんのこれからの活躍に期待しています」



クラブ員を代表して、伊平屋村少年消防クラブによる決意表明。「他のクラブとの交流を通じて学ぶことの多い3日間でした。地域の防災リーダーになれるようこれからも頑張っていくます」



◆解散式——ホテルサンシャイン徳島



好天に恵まれ、無事に交流会は終了。たくましく3日間を乗り切りました



10時50分、ホテルサンシャイン徳島の3階鳳凰の間にクラブ員一同が集まり、解散式が行われました。初めて会う仲間たちともにも有意義な時間を過ごした3日間。最初はぎこちなかった食事の雰囲気も、3日目の朝食ではワイワイガヤガヤとにぎやかな雰囲気に一変。それぞれのクラブ員が交流を深め、お互いが仲良くなった表れだったようです。3日間の思い出と貴重な学びを手土産に、これからの消防クラブでの活動に生かしてもらいたいと願っています。

交流会を終えてそれぞれの帰路に。ぜひまたお会いしましょう。

◆各クラブ員に交流会に参加した感想を聞きました。[Question] 少年消防クラブ交流会に参加して、印象に残ったことや学べたことを教えてください!

6区少年少女消防クラブ

合同訓練が楽しかったし、印象に残りました。競技の中でも、ボウリングのピンを倒すのがとても難しく時間がかかってしまいました。チームの順位はあまりよくなかったけど、みんなで力を合わせてできたので満足です。日頃の活動では、ロープを結んだりするのが結構難しいけれど、それができたときにはとてもうれしいです。そうした今までの活動を交流会で少しでも出せたのでよかったと思います。



渡川大夢くん(小6)

比治山学区少年少女消防クラブ

合同訓練で、ちょっと遅くなったりもしたけど、初めてやってみて、自分では頑張れたし、楽しくできたのでよかったです。リレーでボウリングのピンをホースで倒すところが難しく、なかなか倒れなくて大変でした。交流会では、ほかのクラブの人が水を取ってくれたりしてうれしかったです。また参加することができたらいいな、と思いました。



國澤日和くん(小4)

河南町ファイアジュニア

消防士ってどんなことをするのか最初は知らなかったけど、今回の交流会を経験してみて、こういういろいろなことがあるのだとわかりました。訓練は見るのとやるのとでは大違い。今回実際に経験してみて、意外に難しいと感じましたし、それだけにやりがいもあるんじゃないかと思いました。こうした交流会に参加するのは初めての経験でしたが、消防士の仕事や役割がよくわかったことはよかったです。また他のクラブ員のみんなども少しは話ができたい思い出になりました。



植野愛大くん(中3)

うずしお少年少女消防クラブ

合同訓練でのクラブ対抗リレーがとても印象に残りました。合同訓練の順位は4位と、すべてがうまくいきました!日頃の練習の成果を出すことができ5位以内に入ることができたのでよかったです。ただ、その中でロープの結索は難しかったので、これからまた勉強していきたいです。災害が出たときにどう対処するかということはこの交流会でも学ぶことができ、いい経験になりました。



橋本涼平くん(小6)

厚南地区少年消防クラブ

合同訓練で、無理だと思っていたら5位に入ることができたのでビックリしました。それが一番印象に残りました。練習してきたことがみんなきちんとできたので、好成绩につながったのだと思います。目標は1位だったのですが(笑)、まずは満足です。今回の交流会を通して、災害のときに自分たちがどうすべきかがわかったことあるので、今回の経験をぜひ今後に生かしていきたいです。



楠田琉那さん(中2)

府中町少年少女消防クラブ

交流会を通じて、参加したみんなと仲良くなって、合同訓練も3位になることができました。自信はそんなになかったのですが、本番でけっこううまくできました。ホースを伸ばすところや結合が早くできたのがいい結果につながったと思います。消火器の使い方やロープの結び方などは日頃の活動でも教わっていて、いつも勉強になります。それが訓練では成果になって出たのかなと思いました。これからも活動を頑張っていきたいです。



岡本夏海さん(小6)

3日間で得た学びや思いを、ぜひ今後のクラブの活動に生かしてください。

白地小学校少年消防クラブ

日頃の活動で覚えたロープワークが、今回の合同訓練でも生かすことができました。災害の救助のときに役立つことなので、これからもしっかりと勉強していきたいです。合同訓練では、自分の中では上出来だったけど、もうちょっと頑張れたかな、とも思います。そして合同訓練では、ほかのクラブの子にロープの結び方を教えてあげました。少し話も出来たのでよかったです。



宮川 柁くん (小6)

土成中学校少年少女消防隊

今回参加してみてよかったのは、こういう交流を通して、災害時に何が出来るかを学んでいったことです。また、なかなか普段は他のクラブと交流がもてる機会はないので、知らなかった人たちと新たに交流ができたのはよかったです。合同訓練は2位と、優勝まであと一歩でした。自分の失敗もあったのでやっぱり少し悔しいですね。これからもみんなで力を合わせながら、チームワークを大切に頑張っていきたいです。



小崎公也くん (中3)

伊島少年消防隊

合同訓練で、普段経験できないような競技を、チームで団結してできたところがよかったです。訓練は、ちょっと体調を崩してしまったこともあって、自分としてはあまりうまくできずに悔しかったです。でもチームの順位は7位とまずまずだったので、少しホッとしました。交流会を通じて、ほかのクラブの人ともちょっとだけ話することもできました。こういう機会は日頃なかなかないので、また機会があれば参加したいと思いました。



斎藤優花さん (中2)

半田中学校少年少女消防クラブ

徳島県だけではなく、他の県からも多くの人たちが参加して交流会ができたことはとてもよかったと思っています。話はあまりできなかったのですが、とても楽しい3日間で、参加してよかったと思います。そして合同訓練では、自分としてもうまくできて、普段以上のいい記録を出せたように思います。その結果、力を合わせて優勝することができたので、みんな充実した訓練になったと思います。



小出悠人くん (中3)

海陽中学校防災クラブ

徳島に違う県のさまざまなクラブ員が集まって交流を深めることができました。夕食会の際など、隣同士になった人から他の県のいいところを聞いたり、普段なかなかできない経験なので、とてもためになりました。合同訓練は、惜しくも8位！でも練習のときよりタイムは良かったので頑張れたと思います。自分で自分の命を守ることが大切だと思っていたのですが、交流会を通して、みんなで協力してそれができればもっと大きな力になることを感じました。



西宮愛美さん (中2)

川崎小学校少年消防クラブ

今まで僕は、消防隊員の仕事をあまり知りませんでした。だけど、合同訓練をやってみて、こんなに大変なんだということがわかったので、体験できてよかったです。訓練は、ロープの結束が難しかったのと、クラブ対抗リレーのハードルをくぐるところに時間がかかってしまいました。でも最後まで頑張ることができたのでよかったです。とても勉強になった3日間の交流会でした。



南 恒輝くん (小5)

橋原学園少年消防クラブ

人形浄瑠璃も見に行けて、初めてみたので楽しかったです。人形が実際に動くところを初めてみたので、ビックリしました。お土産買うところも行けて、楽しかったです。合同訓練は、クラブ対抗リレーで、ホースでボウリングのピンを倒すところが難しく、少し失敗しました。ほかのクラブの男子が話しかけてくれて、少し友達になれたのもうれしかったです。今度また交流会があれば参加したいと思いました。



川上麻衣さん (小4)

赤岡町少年防災クラブ

合同訓練では、あんまり練習してこれなかったにも関わらず、まずまずできたかなと思います。すごく早いクラブもいて、すごい...と思いました。私たちも、避難訓練のときにどこに逃げたらいいかなどを日頃から教わっています。交流会では、クラブのみんなと3日間一緒に過ごすことができて楽しかったです。宿舎からコンビニにお菓子を買いにいったことも楽しい思い出。また機会があれば参加したいです。



吉田美月さん (小6)

三豊市立河内小学校少年消防クラブ

合同訓練でみんなが大きな失敗をせずに、うまくできたのが印象に残りました。練習でやってきたことが出せたと思います。消防団の人からロープの結束を教わって、それをずっと練習してきたので、本番でも早くできたように思います。交流会では他のクラブの人たちとも少し話げできました。僕たちの部屋に入ってきて、「この部屋いいなあ」って話をしたり、楽しかったです。また交流会があれば参加したいです。



松浦祐仁くん (小5)

伊平屋村少年消防クラブ

私たちが消防クラブ員として日頃から活動していますが、全国にも同じような活動をしている人がこんなにいることを初めて知りました。沖縄でもこうした交流の機会はなく、同じ年代で同じようなことを学んでいる人たちと交流できたことがとても印象に残りました。合同訓練は緊張もしましたが、こうした競い合いの機会はあまりなかったので、いい経験になりました。上手なクラブを見て、自分たちももっと頑張らないといけないと感じました。



伊礼菜乃さん (中3)

下曽根少年消防クラブ

夕食や朝食など食事のときに、いろんな人と交流ができて、友達も増えたことが一番に残ったことです。同じテーブルの人たちと、自分たちのまちの有名ななどを話したりして楽しかったです。合同訓練では、僕は練習どおりまずまずできたかな、と思います。消防クラブでは、普通では学べないことを教わったりできるので、とても勉強になります。これからも活動を頑張っていきたいです。



谷本優斗くん (小5)

第東中14区少年消防クラブ

合同訓練のクラブ対抗リレーとクラブ対抗障害物競走が印象に残りました。順位はあまりよくありませんでしたが、みんなで頑張った練習してきた、その成果が自分たちなりに出せたと思います。交流会では、いろんな消防クラブの人たちと少し話をするのもできました。もしもときに役立つことを多くの消防の人が教えてくれる機会は貴重だと思うので、もっとこの活動を広げていけたらと思います。



宮原和美さん (中3)



今後のクラブ活動として、夏休み期間中に1日職

このクラブは、町内に在住・在学の小学5年生から中学3年生を対象とし、第一期生として、45名の生徒児童が入団を希望し、平成25年6月15日(土)に湯河原町長はじめ、湯河原町議会議員のみなさまに、ご出席いただき町民体育館で発足式を開催いたしました。

現在、少子高齢化社会の進展により、地域防災の担い手である消防団員や自主防災組織の人材不足が指摘されており、当町においても例外ではありません。そこで、地域防災リーダーの養成さらには将来の消防団員など幅広い分野で活躍できる子供たちの育成を重視し、本クラブを発足する運びとなりました。

湯河原町消防本部では、地域の安心・安全なまちづくりの一環として、このたび湯河原町少年少女消防クラブを発足いたしました。

少年消防クラブの活動

湯河原町少年少女消防クラブ

神奈川県

湯河原町消防本部では、地域の安心・安全なまちづくりの一環として、このたび湯河原町少年少女消防クラブを発足いたしました。

湯河原町消防本部

場体験を実施し、町内の避難場所についての勉強や防災HUG(避難所運営ゲーム)を使った避難所運営体験、放水訓練・梯子車搭乗体験などを実施、9月の救急講習会、1月の消防出初



中この地を訪れたところ、地中に波音があり、一夜にして清泉が湧き出たことから「和泉」と名付けられた

大阪府

当クラブのある和泉市は、神功皇后が新羅出兵の途

南横山校区・幸校区少年消防クラブ

南横山校区・幸校区少年消防クラブ事務局 (和泉市消防署北分署)

我が市の少年消防クラブは、地名の由来から消防関係には特に力を入れており、子ども達の頃から防火・防

南横山校区は4年生と5年生を対象として参加し、

10年12月に結成しました。

厳しい訓練等にも積極的に参加し、防火マナーや団体行動を身に付け、サマーカーンやクリスマス会では防火に関する教育を交えた、楽しいイベントで交流を深めています。日本損害保険協会「ぼうさい探検隊マップコンクール」では、市内で発生した集中豪雨で被害を受けた住民の方々や市の福祉施設を訪問してインタビューを実施したり、市内で防火上、避難上危険な場所を歩いて探索しました。その結果、平成23年度には「審査員特別賞」、平成24年度には「佳作」に選ばれました。これらの活動を今後も継続し、火事のないまちづくり、また、防災に強いまちづくりの実現を目指したいと思います。



防火教育や規律訓練といった



城陽少年消防クラブは、火災予防についての研究の

主な活動内容は、防火教育、規律訓練、防火ハイキング、消火訓練、サマーカーン、ぼうさいマップ作成、施設見学、広報活動、クリスマス会、出初式への参加といった活動です。防火教育や規律訓練といった

城陽少年消防クラブ

防火マナーを身につけた社会人を育成することを目的とし、昭和56年3月1日に発足。クラブ員は城陽市内の小学校4・5・6年生で組織されています。

防火マナーを身につけた社会人を育成することを目的とし、昭和56年3月1日に発足。クラブ員は城陽市内の小学校4・5・6年生で組織されています。



愛媛県
昭和62年に少年消防クラブ結成しました。東温市内には7つの小学校があり、その7校の小学4年生を対象に1年間少年消防クラブ員として活動して

東温市少年消防クラブ

東温市消防署 消防係 担当 二神平

自主防災の精神を小学生から体験することにより、防災意識の向上「自分たちの地域は自分たちで守る」という、自助・共助の教え郷土愛護の精神を忘れず、若きクラブ員に期待し更なる発展を遂げたいと思っております。



昭和62年に少年消防クラブ結成しました。東温市内には7つの小学校があり、その7校の小学4年生を対象に1年間少年消防クラブ員として活動して

東温市少年消防クラブの指導を学校教員と消防職員が協力し消火訓練、地震体験、煙避難体験、心肺蘇生法、消防署内見学等を消防署の施設や防災センターを利用してより多くの子どもたちに伝えるようにしています。また、毎年3月に行われる消防出初式では代表クラブが防火演技を披露しています。東温市少年消防クラブの目標である少年たち



への明朗活発な気風の育成並びに火災予防の普及、及び一般的防火思想の向上に向け活動を続けています。今後の活動目標としては、各少年消防クラブに地域の防災マップを作成してもらう計画を立てています。「自分たちの地域は自分たちで守る。」という強い気持ちを持ってもらい、地域の人たちと連携して大災害に対する備えを養ってまいります。

これから2年間、クラブ員たちは、定期的に活動を行い、市民へ防火防災を呼びかけ、また、自身の防火防災意識の向上に努めていきます。

式典後は、規律訓練や初期消火訓練、通信指令室において通報訓練を行いました。規律訓練では、消防の基本の動作について、初期消火訓練では、消火器の取扱いについて学びました。通信指令室で行った通報訓練の際、クラブ員は、実際に119番通報に対応する指令室員の姿を目の当たりにし、その緊迫した雰囲気

福岡県
八女市少年消防クラブ大会
八女消防本部予防課広報係 中川原 夕紀
今年度、新たに31名が八女市少年消防クラブに加入し、5月25日、八女消防本部において八女市少年消防クラブ大会を実施しました。

新入クラブ員たちは、受



豊かな街づくりに、
役立つ宝くじ。

宝くじの収益金は、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、いろいろなかたちで、みなさまの暮らしに役立てられています。





財団法人 日本宝くじ協会
財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。 日本宝くじ協会ホームページ <http://jla-takarakuji.or.jp/>

